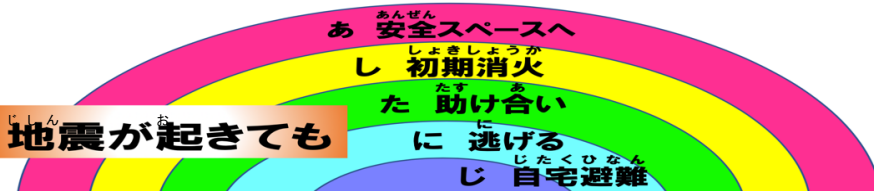


いえ
家にいるときに、
おお じしん お
大きな地震が起きたら？
「あ・し・た・に・じ」？

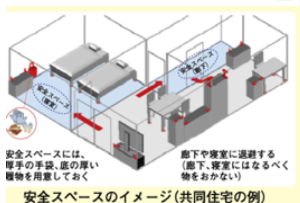
地震が起きても



子どもの防災マニュアル

保護者の皆様への説明

あ 安全スペースへ避難



○家具を固定、整理して、部屋の中に、「物が倒れてこない、動いてこない、落ちてこない、」安全スペースを作っておく。できれば家全体を安全スペースに。
(家具などを固定していない部屋では、「テーブルの下」が安全とは限らない。)
○物が無い「ろうか」などは安全スペースであることも。
○地震を感じたら、緊急地震速報を聞いたら、安全スペースに避難する「家庭内避難訓練」をしましょう。



し 初期消火



○「ひ・け・し」(避難・消す・知らせる)の原則を家族や自治会などで訓練。
○地震で家が破損、家具が倒れ、部屋が散乱していたら、電気器具のプラグを抜く。通電すると火災の可能性。ブレーカーを落とす。(避難するなら必ず。)
○消火活動も、「火が目の高さ」になったら部屋から脱出、避難。
○自治会などで、スタンドパイプを配備。訓練をみんなで体験。
○ガスの火は、震度5相当で自動的に消える。台所にいたらまず離れる。

た 助け合い



○となり近所(近助)自治会、マンションなどで安否確認。(訓練に参加を)
○震災直後の「安否の否」(家が倒壊、閉じ込め、家具の下敷き、負傷、クラッシュ症候群、火災、)に対応する安否確認訓練を。
○「ボール、のこぎり、ジャッキ」は命を救う「三種の神器」。
○市民トリアージで負傷の程度に応じた最善の対処。
○みんなで応急手当、搬送(担架、車椅子)訓練を。
○軽症者、中等症以上の搬送先を確認し、搬送想定訓練を(家族が怪我をしたら?)。
○二時間以上体が挟まれていたら、透析ができる病院に、「クラッシュ症候群の疑いあり」と伝える。



に 逃げる









【津波】津波の来るところにいたら、高台・高いビルなど避難場所に避難。
【火災】火災延焼が想定される地区では、広域避難場所(火災から身を守る広い場所)への避難ルート確認を。家の周辺が火災から安全なら動かない。
火災延焼が想定される地区で、広域避難場所が遠い場合には、広い道路、川、鉄道、ビルの壁などの火災が渡れない場所を探しておき、避難する想定を。
【自宅に住めなくなったら】次の地震に耐えられないほど家が破損したら、避難所(学校など地域防災拠点)に避難。避難所ルールを守り、協力して避難生活。

じ 自宅避難が一番



家が無事なら、自宅避難生活が一番。次の「た・か・の・す」の備えが必要。
た 【耐震性】1981年以前の建物は耐震診断・耐震工事。(補助制度あり)
新耐震基準の建物も、壁が少なく、バランスが悪ければ耐震診断を。
か 【家具固定】背の高い家具は固定。食器棚は地震対策品に。
家具固定は、「ポール式」+「ストッパー式」併用が効果的。
の 【飲み物・食べ物】「防災用非常食」もよいが、日頃飲んでいるもの、食べているものを多めに備蓄。(災害後は店に品がなくなり、当分入らない。)
す 【ストック】10日は生活できるほど多めに備蓄し、古いものから使っていく「ローリング・ストック」(循環備蓄)がおすすめ。

こ ぼうさい 子どもの防災マニュアル	ほ ご し や み な さ ま せ つ め い 保護者の皆様への説明
<p>火事のときにすぐやる3つ</p> <p>ひ ひなん 避難</p> <p>け けす 初期消火</p> <p>し しらせる 通報</p> 	<p>【ひなん】避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ○とくに煙を吸わないように部屋の外に出る。 ○煙が来たら、床に近いところの空気を吸って脱出。 ○初期消火も、「炎が目の高さ」になれば避難。 <p>部屋の空気の温度高くなり、煙が危険。爆発的に燃える「フラッシュオーバー」になる危険も。</p> <p>【けす】初期消火</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火器は、だれでもすぐ使える場所に。 ○まず、「火事だ！」と家族、近所に知らせ、水や消火器で初期消火。「消火器の黄色いピンを抜く→ホースをしっかりと持ち、火に向ける。黒いレバーをにぎる。」練習を。 <p>【知らせる】通報</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近所に「火事だ！」と知らせれば、消火の応援や119番通報してもらえる。 ○119番、または携帯電話の「緊急SOS機能」(例:iPhoneなら電源ボタンを5回)を練習。 ○119番通報して、「火事ですか？救急ですか？」と聞かれたら、「火事です。」「住所はどこですか？」と聞かれたら、住所や目印になる建物を言える練習を。 

こ ぼうさい 子どもの防災マニュアル	ほ ご し や み な さ ま せ つ め い 保護者の皆様への説明
<p> 火事を生きぬく三つのちえ</p> <p>に にほうこう 二方向避難</p> <p>ぼ ぼうか とびら 防火シャッター・扉</p> <p>し し 死ぬことがあるけむり</p>  	<p>【にほうこうひなん】二方向避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ○法律により、多くの建物は、どの場所からも二方向以上に「非常口」。 ○マンションも、ドア・バルコニー・避難はしごなどあり。 ○火災の場所や、煙によって、安全な方に避難。 <p>【ぼうかしやったーとびら】防火シャッター・扉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防火シャッター・扉は、近くの「煙センサー」で閉まる。 ○手で閉めることもでき、煙が来ない「防火区画」になる。 ○車椅子など階段での垂直避難がむずかしければ、防火シャッター・扉を閉めて、水平避難をすることも。 ○防火シャッターは、閉まっても、わきにドアがある。 ○防火扉は火災で閉まっても、押すか、引けば開く。 <p>【しぬことがあるけむり】死ぬことがある煙</p> <ul style="list-style-type: none"> ○火災の煙は「毒ガス」(一酸化炭素)。吸えば、意識を失い、死ぬことも。 ○煙を吸わないで脱出。吸うなら、床に近いところの空気を。 ○家庭用火災報知器は法律の義務。寝ているときにも煙を感知して知らせてくれる。 

家族で生きる！

子どもと家庭の防災マニュアル（風水害編・緑区版）

ふうすいがい ぼうさいちしき 風水害への防災知識ポイント

こうずいしんすいそうていくいき
ハザードマップで家が「洪水浸水想定区域」にあったら

はや ひなん
早めの避難を **は・た・す**


早めのひなんを

はたす！

はざーどまっぷ

たいむらいん

ひなんすいっち

防災知識ポイント	こ ぼうさい 子どもの防災マニュアル	ほ ごしや みなさま せつめい 保護者の皆様への説明
はざーどまっぷ 	こうずいのきけん と「 ひなんばしょ 」は、 ハザードマップ でたしかめる。 インターネットもしらべることができます。	家や職場にどのような災害リスクが想定されているかは、ネットからも「洪水ハザードマップ」や、国土交通省「重ねるハザードマップ」などで知ることができます。 浸水想定、避難場所、避難情報入手法を 確認しましょう。
たいむらいん 	マイ・タイムライン をつくり、どの「 けいかいレベル 」からどこにひなんするかきめておきましょう。 	自宅の場所、家族構成によって災害リスク、避難場所は異なるので、家庭や自分の時系列の行動計画「 マイ・タイムライン 」を作成。わが家はどの警戒レベルで、どこへ避難開始するかを決めておきましょう。
ひなんすいっち 	みんなのひなんさせるために、まず自分から ひなんスイッチ を入れる。 あなたの ひなん と こえがけ がにげないでいる人の ひなんスイッチ を入れることもあります。	「率先避難者たれ。」の教訓もあり、あなたが避難を開始することが、他の人の避難行動のスイッチを入れることも。

○「タイムライン」は、国の「防災基本計画」で行政・関連機関が連携する事前行動計画。

○自治会・学区・マンションなどで「地区タイムラインをつくることを目指しましょう。」

マニュアル作成「防災塾・だるま」

原案：塾長 鷲山龍太郎

イラスト：片山 晋

引用：緑区洪水ハザードマップ 横浜市マイ・タイムライン作成シート

イラスト：片山晋

kaoririnn（旗振り犬）